

## 10 公開講座

## 公開講座の実施状況

年度	講座名	講座の趣旨	実施学部 (協力学部)	開催日数・時間	会場	募集定員	受講料 (1人あたり)	所要経費	備考
昭和	47 「環境と公害」	京葉工業地帯の急速な発展に伴い、地域住民の重大な関心事となっている環境と公害問題を選定し、環境問題の主要点と環境基準について住民の理解を深めることを目的とする。	全学	6日間 (7月19日～7月26日) 延べ36時間	本部 会議室	70人	1,000円	206,000円 {謝金165,000 校費 41,000}	社会教育局 (開放講座)
	48 「環境汚染と人間生活」	前年度の「環境と公害」の講座に続いて「環境汚染と人間生活」と題して講座を開設し、地域住民の教養を身につける機会を与えることを目的とする。	全学	9日間 (8月21日～9月6日) 延べ36時間	医学部 講堂	300	1,000円	580,000 {謝金234,000 校費346,000}	社会教育局 (開放講座)
	49 「生活文化と技術」	産業革命以来、技術の進歩がくらしの中で我々にどのように結びついてきたかを見直し、そこから人間のための技術はいかにあるべきかを見出してゆくことを目的とする。	工学部 (工学部 短 期 学 部 教 養 部 理 学 部 医 学 部)	5日間 (8月26日～8月30日) 延べ30時間	本部 会議室	100	750	379,000 {謝金261,000 校費118,000}	社会教育局 (公開講座)
	50	(学内事情により中止)							
	51 「くらしとこころ」	文明の進歩は、物質文明と精神文明のよきバランスによるものであり、両者の上にたつ人間性を基盤とした新しい価値の創造が今強く求められている。このため、それらの本質を講座を通して理解することにより、より人間的な創造の意義を探求することを目的とする。	工業短期 大学 (教育学部 工学部 教養部)	5日間 (7月26日～7月30日) 延べ30時間	教養部 F号館	80	1,500	483,000 {謝金296,000 校費187,000}	大学局 (公開講座)

52	「くらしと健康」	くらしの中の健康の実態を知り、「心身の異常」の場合に取るべき処置と、自他の健康を守る手だてについてわかりやすくガイドを行うことを目的とする。	医 学 部 (看護学部 生物活性 研究所 教育学部)	5日間 (7月25日～ 7月29日) 延べ30時間	教養部 F号館	100	1,500	{ 謝金382,000 { 謝金187,000 { 校費195,000	大 学 局 (公開講座)
53	「くらしと文化を 探る」 —日本と世界—	激動の時代である現代は、いろいろな政治問題、経済的困難、社会的緊張関係が発生し、国民のくらしや文化にさまざまな影響を与えている。この講座では現代が直面している基本的な問題の所在を明らかにし、日本といくつかの諸国を加えて現代における「くらしと文化」を総合的に解明することを目的とする。	人 文 学 部	7日間 (5月27日～ 7月8日) (毎週土曜日) 延べ21時間	人文学部 21番教室	100	1,000	{ 謝金302,000 { 謝金142,000 { 校費160,000	大 学 局 (公開講座)

